

「人が主役」の企業を標榜し、この街仙台・宮城・東北になくはない企業に成長することを目指します。

株式会社ソノベ
代表取締役社長
仙台商工会議所 2号議員

そのべ あきお
園部 明郎 さん

プロフィール

昭和14年10月27日生まれ。仙台市出身。血液型B型。
昭和32年仙台高校を卒業後、東北学院大学に進み2年で中退。上京し3つの印刷会社(活版・グラビア・オフセット)で修行を積み、40年園部紙工棟に入社。取締役生産部長、常務取締役を経て、49年代表取締役就任。63年社名を(株)ソノベに改称、現在に至る。高校・大学と山岳部に所属し、自然に親しむ。趣味は海釣り。「釣り仲間には『鱈の園部』などと呼ばれた時代もありますが、震災後は足が遠のいております」と話す園部さん。座右の銘は「憂きことの なおこの上も積もれかし限りある身の力試さん」。「辛いことも果敢に受け止める気概をもって歩んでいきたいですね」と笑顔を見せる。



市民の「ミイアゲイブ」の情報発信を独自の手法でサポート

「御社では本業である印刷業とは別の視点で、仙台・東北の魅力を広く発信する事業を展開しています。まず、『センダイ自由大学』についてお聞かせください。」

「センダイ自由大学」は、「あつたらしいな」を授業する、人・企業・地域のステーションアップキャンペーンをキャッチフレーズに、新しいまちおこしと広告プロモーションの仕組みを提案しようと、ソノベグループの若手社員たちが6年前に開校した市民参加型の学び舎です。「何となく閉塞的な時代をブレイクスルーしたい!」との想いから始めたもので、「誰でも気軽に参加できる敷居の低い市民大学」として、暮らしや歴史、文化、食、仕事、恋愛、そして広告の研究などをテーマに月7、8回の講座を開き、これまで延べ7、8、000人の方々に参加していただきました。

集客のために広告を打ってもレスポンスがない場合が多い、一方的な情報を伝えるだけの広告は人々の心に響かない。そこで考えられた「交流の場」が「センダイ自由大学」なんです。交流の場を設けることで、企業は、生活者と情報が共有できますし、自治体も、市民や県民の声を取り入れやすくなります。人が集まり共に成長できる場所ということ、「大学」としたのです。

現在は姉妹校である「TOMIYA自由大学」を開校したり、メンバーが各地の大学で講師役の依頼を受けたりと、その活動の範囲が広がっています。

「次に『miyagiebooks』と『東北案内所』について教えてくださいいただけますか。」

「miyagiebooks」は宮城県内の自治体や企業・団体が発行する広報誌などを、パソコンやスマートフォンで見ることが出来る電子書籍ポータルサイトで、おかげさまで立ち上げから2年が経過しました。

大震災の後にやむなく他県に移り住んだ方々から、故郷の情報を手にとれることが、とてもうれしいとの便りが届いております。サイトの閲覧および掲載は全て無料で、宮城県版では11月までの掲載書籍数が1,227冊、イベント情報は481掲載となっております。最近では「学校ebooks」も開始し、学校案内のパンフレットも掲載・閲覧できるようにいたしましたので、より多くの方々にご利用いただき、地元情報の受信・発信にご利用いただきたいと思っています。

「東北案内所」とは、この春にインターネット上に開設した、東北の良さを案内するサイトです。「東北にはi(アイ)がある」をテーマに、i(私)で始まる東北の information(情報)を、i(愛)をもって世界に紹介するという内容です。震災を乗り越えて前に進む東北が経験している



「センダイ自由大学」の様子。この日のテーマは「海苔」。「東松島海苔ノリツアー」として、海苔についてのお話を聞いたり海苔づくりを体験したり、そして実際に海苔を食べてみたり…普段から食卓に並ぶ海苔のことを知り尽くす内容で好評を博した。

ことは、世界でも最先端の地域づくりです。この経験は東北の可能性を意味し、世界に紹介すべきものだと思うのです。小さな活動ではありませんが、東北地域の役に立ちたいと願って始めた事業で、現在、グループ内ベンチャーを計画しております。

若手の発想が「面白さ」を生み出す 企業の主役は「人」

「これらの取り組みは、若手社員の発案で形になったものと伺いましたが、そうなんです。入社1年目、2年目という若手中の若手もいろいろなアイデアを出しています。このような環境が社内に醸成できたのは、ワーキンググループをつくったことが大きく影響しているのかもしれない。」

社内ワーキンググループには広報を

はじめ、ニュービジネス、本社視える化、顧客満足、グループ活性化、生産部視える化、といった委員会がありま
す。生産部視える化委員会では、用紙
代や光熱費を大幅に節約しております。
これは企業の競争力になりますので、
大きな成果です。また、職場のコミュ
ニケーション、風通しの良い環境づく
りというのも大切ということで、先日、
本社視える化委員会では、社員やパ
ート従業員の家族も招き、芋煮会を開い
て大いに交流しました。全て委員会の
独自運営という事で堅苦しい事は一
切なし。私も参加しましたが、社長の
挨拶や乾杯も無かったんですよ(笑)。
このような活動を通して、弊社が「人
が主役の企業」であることを一人ひと
りが実感できる企業風土を目指して、
自己組織化を促進しております。

What next? Action! 本業からはみ出す挑戦が組織の力に

「最後に、今後の抱負をお聞かせく
ださい。」

「今までご紹介したどの事業も、一見
すると印刷業とは無関係に見えるかも
しれません。しかし、本業の「円」の
外に「点」を打つように、あえて、部
分的に自社グループの人的能力を本業
からオーバーさせるような活動に挑戦
していくことが、組織の成長には不可
欠なのではないかと考えています。」

本年度からは、弊社営業部に「地域

未来デザイン事業部」を開設し、仙
台・宮城・東北にたくはならない企
業になることを目指して努力してい
るところです。今後、東京オリンピック
までの5年間は、発展途上国の経済発
展期と重なり、お金や人が首都圏の東
京・大阪に集中することでしょう。ま
た、この5年間は被災で大きな痛手
を負った東北地方が、自分たちの地域が
もつ価値を本気で見つけ直し、発展さ
せるための努力をする期間だと思いま
す。今後も東北独自の魅力を磨き上げ
、地元の方々がこの地に残り、働き、生
活したくなるようなまちづくりに資す
るプロジェクトを企画、展開していま
いと考えています。

【概要】

株式会社ソノベ

代表者：代表取締役社長 園部 明郎

創業：昭和3年3月1日

創立：昭和24年3月1日

資本金：11,500,000円

関連グループ会社：株式会社創童舎、株式会社コムメディア

事業内容：高品質にこだわった印刷物をはじめ、コピー・グラフィックデザ
インを提供。ウェブ・電子ブック・映像の制作、イベント&ディ
スプレイ、マーケティング&プランニングなどを行っています。

所在地：仙台市青葉区一番町三丁目3-19

TEL. 022-263-7733 (代)

ホームページ：http://www.sonobe.co.jp

※「miyagi ebooks」には、本誌「飛翔」も掲載中です。ぜひ、ご覧ください。

街

やさしい気持ちで暮らせるように……。

たくさんの人が集まり、働き、笑い、泣き、そして暮らしてゆく空間、
『街』…。そこで人々が明るく、健康に、そして何よりやさしい気持
で暮らせるように、快適な都市環境をつくって行かなくては…。
私たちはそう考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全

本社/仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)